

2 回目の演習 (第 1,2,4,5 章) について (演習の後の訂正版)

2017.5.11

- 演習用のファイルは、すべて、coins マシンの /home/prof/kam/plm/ の下にあります。端末ソフトを開いて、`cp ~kam/plm/*.ml ~/plm` といったことをやると、すべてのファイルが自分のホームディレクトリの下に plm という directory の下にコピーされます。(ただし、事前に `mkdir ~/plm` とやって、plm というディレクトリを作っておいてください。名前は plm でなくてもよいです。)
- ファイル chap1.ml は 1 章の内容 (初回の授業に関連) のファイルです。演習問題を全て解くことを強く勧めますが、レポートとして提出する必要はありません。
- 今日の必須課題 1 [2017/5/12(金) 正午締め切り]. ファイル chap2.ml の演習問題について、2.3.1, 2.3.2 を必須とします。(それ以外は発展課題とします。) ファイルは 1 つにしてください。pdf ファイルまたはテキストファイルとしてください。 chap2.ml ファイルをコピーしたものに解答を書きこんだファイルでも構いません。
- 再来週までの必須課題 2 [2017/5/25(木) 正午締め切り]. 課題内容を以下のように修正しました。
 - chap4.ml のファイルを参考に (演習問題 4.5-a も、自分では実行してみるなどして理解を深めた上で)、演習問題 4.5-b, 4.5-c, 4.5-d に解答しなさい。その他の演習問題は発展課題とする。
 - chap5.ml のファイルを理解した上で、演習問題 5-0-a, 5-0-b, 5-0-c, 5-1, 5-3 に解答しなさい。その他の演習問題は発展課題とする。(5/11 の午後 18:10 頃に chap5.ml のファイルを変更したので注意せよ。もし、あなたが持っている chap5.ml ファイルに演習問題 5-0-a がなければ、それは古いファイルであるので、再度コピーして欲しい。)
- 発展課題 3. chap4.ml などの eval は、「値呼び方式」にもとづいていたが、ファイル cbn.ml は、「名前呼び方式」の eval を与えている。このファイルの演習課題を解ければ、「名前呼び方式」についての理解が深まるだろう。(ただし、値呼びや名前呼びについては、5/18 の講義で扱う予定である。)
プログラミング言語の処理系の作成経験がある人は、最後の optional 課題である「必要呼び方式」の実装にチャレンジしてほしい。

提出先: Manaba システム

形式: すべての課題において、1 つのファイル (pdf または テキスト) で提出してください。xxx.ml ファイルに解答を書きこんだものを提出しても構いません。